

○議長（古川元規） ただいまの出席議員数は7人です。定足数に達していますので、休憩前に引き続き会議を開きます。

前原英石議員。

○7番（前原英石） 前原でございます。よろしくお願いいたします。

皆さんも感じておられると思いますが、今年の夏は本当に異常で、この暑さにうんざりしております。私自身も体調の不良を感じたり、集中力がだんだん欠けていく。決断力がなくなっていく。つくづくこの暑さには、もううんざりしております。

村民の皆様におかれましても、日常生活に支障が出たり、また外出も制約されたりと思いますし、働いておられる方々にとっても、仕事にも支障を来していることと思っております。

そんな中で、いや何か最近、救急車のサイレンの音をよく聞くようになったなというふうに思ったので、東部消防舟橋分遣所のほうに、舟橋村で熱中症で搬送された方は何人ぐらいいるんですかというふうに聞きに行きました。

ほったたらすぐに、その日のうちに返事が来まして、これは公にも話はしているんですけれども、舟橋村は今年に入って、今から10日ぐらい前までですが、ゼロであるという話でした。

そのゼロという話に少しびっくりしたところではございますが、逆に考えれば村民の皆様がそれぞれ熱中症対策を取っておられたのかなというふうに感じたところであります。

このゼロというような数字、やっぱりこの後まだ30度以上の気温が続くわけですから、これまで同様にしっかりと熱中症対策を取っていただきたいと思いますし、村での施策として、クーリングシェルター、また熱中症の指数計等の配布などについても、このゼロという数字に多少のつながりがあるのではないかというふうに思っておりますので、今後とも村民の皆様には、しっかりと熱中症対策を引き続き取っていただきたいなというふうに思います。

それでは、私の通告をしております村長交際費の公開について質問を行います。

村民から、村長交際費の使途について関心が寄せられていることがあります。交際費は、行政の円滑な運営やトップセールスに係る費用など必要な部分も多々あると思いますが、その透明性が担保されていなければ村民からの不信を招くおそれがあります。

村政への信頼と住民の期待に応えるため、そして理解を深めるためにも支出基準、公

開基準を明確化し、村長交際費の使途を定期的にホームページ等で公開する制度の導入を検討すべきと考えますが、村長のお考えを伺います。

以上です。

○議長（古川元規） 山崎総務課長。

○総務課長（山崎貴史） 7 番前原議員の村長交際費の公開についての質問にお答えいたします。

村長交際費は、村長が村を代表して行う外部の個人や団体との交際に要する経費であり、主なものとしましては、各種団体の総会や懇親会の会費、香典等の弔慰金、文化・芸術・スポーツ団体等が主催する事業への協賛金などが挙げられます。

これまで舟橋村では交際費の支出基準、公開基準を定めておりませんでした。議員ご指摘のとおり、より透明度の高い村政を推進するため、速やかに基準を策定し、定期的に支出内容を情報公開してまいりたいと考えております。

今後とも、村長交際費の支出に当たっては、支出の内容や相手方が社会通念上妥当と認められる範囲内で、かつ必要最小限の金額となるように努め、適切に執行してまいります。

以上です。